

商品マスタ共通フォーマット
データ仕様書

- 第8版 -

2024/8/5

一般社団法人 全国住宅産業地域活性化協議会
住宅産業 I T 部会

改定履歴

項	改定日	版数	改定内容
1	2015/7/15	第1版	初版発行
2	2015/7/17	第2版	項目桁数情報追加。1.標準フォーマット誤記修正
3	2016/10/4	第3版	1.標準フォーマット 単位誤記修正(半角数字→全半角)
4	2016/10/26	第4版	標準フォーマット 単価、数量を任意を変更し、必須とする。
5	2023/10/12	第5版	項目名修正 13.見積原価→13.原価単価。12, 13項目の説明・備考欄を追記。
6	2024/3/7	第6版	項目型修正 10.単位:半角→全半角、11単価区分:半角→全角
7	2024/4/9	第7版	説明・備考欄の追記、修正。データ区分を任意を変更し、必須とする。マスターひな型、注釈のページを追加。
8	2024/8/5	第8版	9.入数の項目型を半角→全半角に変更。説明・備考欄の修正。

商品マスタ共通フォーマット(イメージ)

No.	項目名(標準)	必須	型		説明・備考
1	メーカー名	○	全角		
2	品名	○	全角		明細内容を表す名称(セット品の名称、建材・設備の名称、工事内容、など)
3	品番・樹種		半角	英数字	データ区分 M:セット品内訳明細、T:単品の場合における、建材・設備の品番 (セット品番がある場合は、S:セットの場合も記載)
4	規格		全角	半角	建材・設備の規格やサイズ、等級
5	分類	○	全半角		次シート分類マスタの分類名のいずれかの値
6	中分類		全半角		分類に対する中分類を設定(データ内容は任意だが必須項目) 次シート分類マスタの中分類は参考であり、必ずしもその値でなくてもよい
7	データ区分	○	半角	英数字	S, M, T, K, O, MK, MO のいずれかの値 (S:セット、M:セット品内訳明細、T:単品、K:工事、O:その他、MK:セット内訳工事、MO:セット内訳その他) ※Sの内訳がM、MK、MOとなるが、Sのみの登録も可
8	部位		全半角		施工場所に関する情報
9	入数		全半角	英数字	発注単位が「箱」「ケース」「袋」などの場合の入数を記載する。記載例:○枚/ケース それ以外の単位の場合は、空欄で出力。 同項目は1つの箱や袋に入っている商品数量のことを表す為、発注単位の情報は備考欄に記載する。
10	単位		全半角	英数字	数量に対応する単位
11	単価区分		全角	英数字	メーカー希望小売価格の場合は1とする。仕入価格(一次店の原価)の場合は2とする。 特注品の場合、メーカー希望小売価格が無い場合があるため、仕入価格が選択できるようにする。
12	売価単価		半角	数字	任意項目。見積システムユーザー(建材流通店)側が使用する項目。
13	原価単価		半角	数字	任意項目。見積システムユーザー(建材流通店)側が使用する項目。
14	粗利率		--	--	表示項目
15	非課税				
16	定価		半角	数字	メーカー希望小売価格の単価
17	摘要/備考		全半角		色柄、掲載カタログ、窓幅/高さ、特注、発注単位に関する情報(品番) など、No.1~16も項目に登録していない情報。 複数値を登録する場合は、値を"/"で区切る(例:Λ°-L/300/600←色柄/窓幅/高さ)
18	内部メモ		全半角		見積非表示項目

分類マスタ

項目名の“分類”には、以下の値のいずれかをセットしてください。

分類名	中分類(参考)	
地盤調査	地盤調査	
仮設工事	仮設トイレ	
	仮設水道	
	仮設電気	
	外部足場	
	内部足場	
	安全対策費	
基礎工事	遣方	
	基礎工事	
	土間・スラブ	
	金物	
木工事	建方	
	大工工事	
	構造材	
	羽柄材	
	構造金物	
	くぎ、ビス	
	合板	
	建材	
	ボード	
	補足材	
	断熱材	
	新建材・造作材	内装仕上材
		造作材
		銘木
階段・手摺		
玄関収納		
造り付け収納		
カウンター		

分類名	中分類(参考)
屋根工事	屋根材
外壁・左官工事	外部仕上材
	吹付材
	左官材
板金・樋工事	屋根板金
	樋
タイル・石工事	タイル
アルミサッシ工事	玄関ドア・勝手口
	サッシ
木製建具工事	内装ドア
塗装工事	塗装工事
内装工事	クロス
住宅設備工事	キッチン
	洗面化粧台
	浴室
	給湯器
電気工事	器具
	配線
給排水設備工事	トイレ
オール電化工事	エアコン
ガス工事	ガス工事
雑工事	雑工事
その他	その他
諸経費	諸経費

■分類と中分類について

シート「M. 分類マスタ」を参照。分類はマスタより選択し設定する。
中分類もマスタより選択する。しかし、該当の項目が無ければ独自に設定する事も可とする。

メーカー名	品名	品番	規格	分類	中分類	データ区分	部位	入数	単位	単価区分	見積単価	見積原価	粗利率	非課税	定価	摘要 / 備考
〇〇株式会社	〇〇サイディング	AAO000	00×000×0000	外壁・左官工事	外部仕上材	T			枚	1	0	0	0	0	10000	発注単位 2 枚
〇〇株式会社	〇〇出隅	AAXXXX	00×00×00×000	外壁・左官工事	外部仕上材	T			本	1	0	0	0	0	5000	発注単位 1 本/受注生産品
〇〇株式会社	〇〇釘	AAVVVV		外壁・左官工事	外部仕上材	T		150本/箱	箱	1	0	0	0	0	5000	発注単位 1 箱
〇〇株式会社	〇〇ガラスウール	BB0000	00×000×0000	木工事	断熱材			10枚/ケース	ケース	1	0	0	0	0	2000	発注単位 1 ケース
〇〇株式会社	〇〇用取付ビス	BBVVVV		新建材・造作材	内装仕上材			10本/袋	袋	1	0	0	0	0	2000	発注単位 1 袋

■データ区分の親子関係についての注意点

建材店見積システムでは、データ区分 S：セット、T：単品、K：工事、O：その他を『親明細』、M：セット品内訳明細、MK：セット内訳工事、MO：セット内訳その他を『子明細』として取扱う。
親子関係を明確にするため、連携データの並び順は、以下ルールとする。

- ・親明細に対して、その内訳となる子明細（複数行）は、必ず直後の行のデータとする。
- ・内訳明細の終わりは、次の親明細（データ区分 S：セット、T：単品、K：工事、O：その他）、もしくはファイルの終わりとする。

例)

品名	データ区分	数量	単位	単価	金額
キッチン一式	S	1	式		1,000,000
パース持付ネット	M	1		500,000	500,000
吊戸	M	1		400,000	400,000
キッチン取付工事	MK	1		100,000	100,000
システムバス	T	1		1,000,000	1,000,000
ドアセット	S	1	セット		150,000
ドア	M	1	本	130,000	130,000
ドア枠	M	1	セット	20,000	20,000

←親明細（以下 3 行の親）
子明細群（親明細の間の子明細の集まり）の直前の
親明細データを、その子明細群の親とする

←親明細（単品）
←親明細（以下 2 行の親）
子明細群（親明細からファイルの終わりまでの子明細の集まり）の直前の
親明細データを、その子明細群の親とする

■単位、定価、入数、備考の関係について

【単位について】

見積提示の際の単価の単位

例：単価5,000円/枚なら「枚」、単価50,000円/ケースなら「ケース」等

【定価について】

1単位あたりの金額（＝単価）をセットする。

【入数について】

上記①の考え方で単位を設定した上で、

単位がケース、箱、袋などの場合、そこに入ってる個数（＝入数）をセットする。

例：2枚/ケース、300本/箱 など

単位がケース、箱、袋でない場合、入数は空欄で表記する。

【備考について】

発注単位や記載事項がある場合は、備考欄にその旨を記載する。

例：発注単位2枚、発注単位1本/受注生産品 等

メーカー名	品名	品番	規格	分類	中分類	データ区分	部位	入数	単位	単価区分	見積単価	見積原価	粗利率	非課税	定価	摘要 / 備考
〇〇株式会社	〇〇サイディング	AAO000	00×000×0000	外壁・左官工事	外部仕上材	T			枚	1	0	0	0	0	10000	発注単位 2 枚
〇〇株式会社	〇〇出隅	AAXXXX	00×00×00×000	外壁・左官工事	外部仕上材	T			本	1	0	0	0	0	5000	発注単位 1 本/受注生産品
〇〇株式会社	〇〇釘	AAVVVV		外壁・左官工事	外部仕上材	T		150本/箱	箱	1	0	0	0	0	5000	発注単位 1 箱
〇〇株式会社	〇〇ガラスウール	BB0000	00×000×0000	木工事	断熱材			10枚/ケース	ケース	1	0	0	0	0	2000	発注単位 1 ケース
〇〇株式会社	〇〇用取付ビス	BBVVVV		新建材・造作材	内装仕上材			10本/袋	袋	1	0	0	0	0	2000	発注単位 1 袋